

マレーシア（自動車部品工場）に対する省エネ支援事業を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（国際エネルギー使用合理化等対策事業・省エネルギー人材育成事業）を受けマレーシアの省エネ推進のために、2016年2月1日～5日の5日間、以下の取組みを実施しました。

- (1) マレーシア・エネルギー省の要請により、自動車部品工場の省エネ診断を実施。
- (2) エネルギー省（政府関係者）および自動車工業の操業・保全担当者を対象に省エネ推進の最新技術を紹介するセミナーを開催。



現地ワークショップ (2/1-4)



エネルギー省ダイヤモンドビルにおけるセミナー(2/5)

マレーシア・エネルギー省の要請で、エネルギー多消費の自動車部品工場の操業および保全担当者を対象に、省エネ法制度に関するワークショップ、工場の省エネ診断、自動車工業の省エネ推進のための最新技術の紹介を実施しました。

(1) 自動車部品工場の省エネ診断

省エネ診断はヒートポンプ（HP）技術の専門家、エアコンプレッサー（AC）技術の専門家の参加の基に実施し、操業改善・設備集約の総合的な省エネ改善を提案しました。HPチームとACチームの2チームに分かれて、それぞれ、操業担当者と設備担当者の混合メンバーで、操業・設備両面から、省エネ診断を実施しました。①HPチームは、工程内の熱量の実態を調査し、電着塗装ラインへの熱回収ヒートポンプの採用を提案、②ACチームは、工場内のエアリーク・現状のAC稼働状況を調査し、現有の6台から4台への設備集約を提案しました。

(2) 省エネ推進の最新技術を紹介するセミナー

エネルギー省の本部で、政府関係者、大学関係者および自動車メーカーの担当者を対象にセミナーを開催し、診断結果の情報共有および省エネ法制度・最新省エネ技術を紹介しました。

マレーシアの自動車工業は日系メーカーとの交流・日本への留学経験者も多く、日本の最新技術への関心も高いので、今回の人的交流を継続・強固なものにして、日本技術の参入に努めたいと思います。